Kenko

ケンコー
デジタルカメラ
DSC925Z

取扱説明書

このたびはデジタルカメラ「DSC925Z」をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。また、取扱説明書は必ず大切に保管しておいてください。

目次

はじめに

このたびは、デジタルカメラ「DSC925Z」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

ご使用前にお読みください。

■結婚式や旅行など大切な撮影の前には必ず事前にテスト撮影を行ってください。

■著作権や肖像権などにお気をつけください。撮影を制限されている場所もありますのでお気をつけください。また、プライバシーを侵害するような撮影は行わないでください。

■本製品の故障およびその他の理由により生じた画像データの破損、消失による利益損失、損害などに関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■本製品の使用および故障により生じた直接、間接の損害に関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■本取扱説明書の図、写真、パソコンディスプレイの画面などは説明のために作成したものです。一部実際とは異なります。

■本製品に付属しているソフトウェアを営利目的として無断でコピーしたり配布することは禁止されています。

■本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複写することは、個人で楽しまれる場合を除き禁止されています。

■製品改良のため予告なく外観、仕様などを変更することがあります。

■本取扱説明書に記載のシステム名、商品名および会社名は各社の商標または登録商標です。

■カメラを長時間使用するとカメラ本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。

安全上のご注意　必ずお読みください。

本製品を安全にご使用いただくために、下記の項目をご使用前に必ずお読みになり、正しくお使いください。

本製品を正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人々への危害と財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示で説明しています。

⚠危 険	⚠警 告	⚠注 意
この指示に従わないで誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う切迫した危険の発生が想定される内容です。	この指示に従わないで誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	この指示に従わないで誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性または、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

■可燃性ガス、爆発性ガスなどが、大気中に存在する恐れのある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。

■本製品を分解したり、直接ハンダ付けするなどの加工および、火中投入などは行わないでください。発熱、発火、破裂の危険があります。

■本製品を高温の場所（真夏の車内、窓辺、暖房器具のそばなど）で使用、保管しないでください。

⚠ 警 告

■本製品で太陽または強い光源を見ることは絶対にしないでください。失明など永久視力障害の原因となります。

■目に深刻な損傷を与える恐れがありますので、近距離（1メートル以内）でフラッシュを発光させないでください。

■本製品を歩行中、または運転中に絶対使用しないでください。交通事故の原因となります。

■本製品を足場の悪い環境や、不安定な場所で使用しないでください。事故の原因となります。

■本製品は防水構造ではありません。水をかけたり、濡らしたりしないでください。製品内部に水が入ると火災や感電、故障の原因となります。

■カメラに何らかの液体が入った場合、使用を中止してください。電源を切り、お近くの販売店にお問い合わせください。

■感電の恐れがありますので、濡れた手でカメラを触らないでください。

■カメラの分解や改造は行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。内部の点検や修理は販売店もしくは当社までご依頼ください。

■本製品を室外で使用中に落雷の恐れがある場合、すみやかに使用をやめてください。事故の原因になります。

安全上のご注意　必ずお読みください。

⚠ 警 告

■小さな付属品を飲み込む恐れがありますので、お子様やペットの手の届く範囲にカメラを放置しないでください。

■ケーブルやストラップが首に巻き付くと窒息の危険があります。お子様の手の届かないところに保管してください。

■ポリ袋（包装用）などを小さなお子様の手の届くところに置かないでください。口にあてて窒息の原因になることがあります。

⚠ 注 意

■本製品は精密な電子機器です。以下のような場所で使用したり放置すると火災や感電、故障の原因となることがありますので避けてください。

●砂、ほこり、ちりの多い場所　●火の近く　●湿ったところ　●振動の激しい場所　●温度･湿度の変化が激しい場所

■カメラを落としたりぶつけたりして強い振動や衝撃を与えないでください。

■レンズを直射日光に向けて撮影または放置しないでください。
集光により内部の部品が破損し、火災などの原因となります。

■電極部分などには一切触れないでください。感電や故障の原因になります。

■本製品を保管するとき、上に重い物を載せないでください。故障の原因になります。

■本製品に付属のケーブルを接続するとき、無理矢理入れたり外したりしないでください。故障の原因になります。

■付属のCD-ROMはパソコン専用のソフトです。音楽用CDプレイヤーで再生することはしないでください。聴覚障害を引き起こす恐れがあります。

■ストラップを持って振り回さないでください。他人に当たり、けがや事故の原因となることがあります。

その他のご注意

■電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、本製品を防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。低温により性能が低下した電池は、常温に戻ると性能は回復します。

■撮影条件、使用環境および電池により撮影枚数が減少する場合があります。

■本製品のレンズや液晶モニタが汚れたとき、市販のクリーニング布で拭き取ってください。汚れたままですと、鮮明な写真を撮影することができません。

カメラの紹介

セット内容

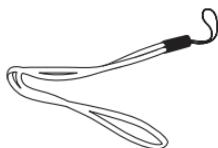
以下のセット内容が揃っているかご確認ください。

デジタルカメラ本体

USB-PC接続ケーブル

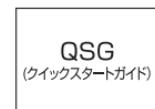
ポーチ

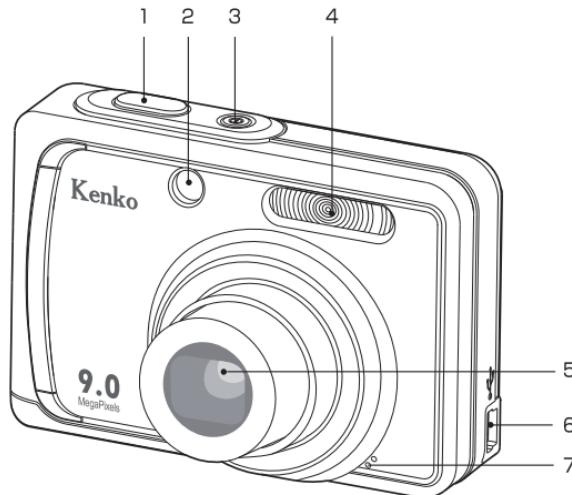
単3アルカリ乾電池（2本）

ストラップ

CD-ROM
（パソコン用のソフトウェア）

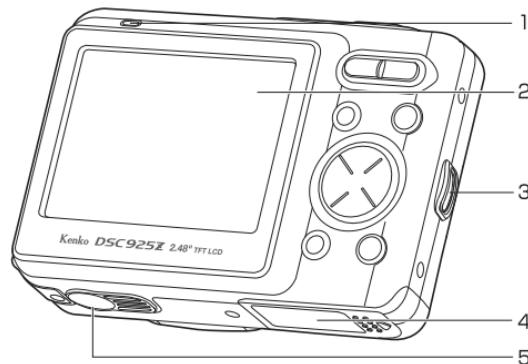
取扱説明書（本書）

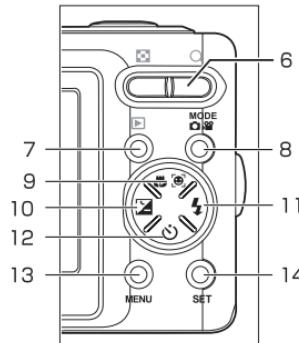
クイックスタートガイド

QSG
（クイックスタートガイド）

カメラの紹介

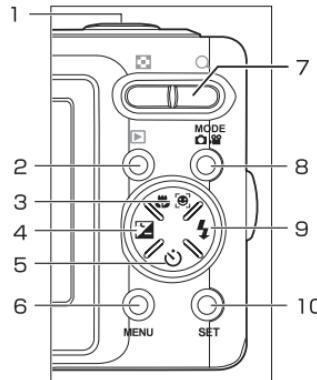
各部の名称

1. シャッターボタン
2. LEDランプ
3. 電源ボタン
4. フラッシュ
5. レンズ
6. USB接続端子
7. マイク

カメラの紹介

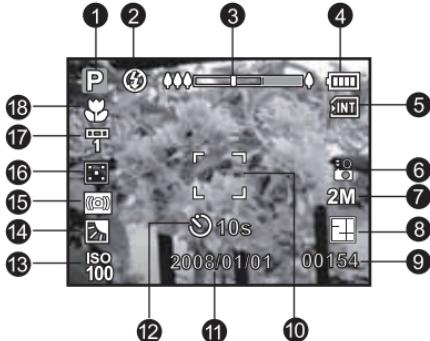
背面

1. LEDランプ
2. 液晶モニタ
3. ストラップ取付穴
4. 電池／SDメモリカードカバー
5. 三脚取付穴

背面ボタン

6. ズームイン／ズームアウトボタン
7. 再生ボタン
8. モードボタン
9. マクロ(近接)／顔認識／上ボタン
10. 露出補正／左ボタン
11. フラッシュ／右ボタン
12. セルフタイマー／下ボタン
13. メニューボタン
14. OKボタン

カメラの紹介

各ボタンの機能

ボタン	機能		
	静止画モード	動画モード	再生モード
1	シャッターボタン	録画ボタン	音声メモ録音( ) 撮影モードへ切替
2	再生モードへ切替	再生モードへ切替	撮影モードへ切替
3	フォーカスモードを切替 自動 → → → ∞	フォーカスモードを切替 標準 → → ∞	右方向に90度回転 90°
4	露出補正 →	ー	前のファイル
5	セルフタイマーモードを切替 オフ→2s→10s→10+2s	セルフタイマーモードを切替 オフ → 2s → 10s	左方向に90度回転 90°
6	メニューを表示	メニューを表示	メニューを表示
7	ズーム 縮小 拡大	ズーム 縮小 拡大	ズーム サムネイル表示 ズームイン
8	動画モード	静止画モード	撮影モード
9	フラッシュモードを切替 自動→ → → → →	ー	次のファイル
10	設定	設定	設定

液晶モニタアイコン

静止画モード

1. モードアイコン
2. フラッシュモード
   [表示無し] 自動
   [ ] 強制発光
   [ ] 発光禁止
   [ ] 赤目軽減機能付き発光
   [ ] スローシンクロ
   [ ] 強制赤目軽減発光
3. ズームインジケータ
4. 電池残量
   [ ] 電池残量 約100%
   [ ] 電池残量 約75%
   [ ] 電池残量 約50%
   [ ] 電池残量 約20%未満
   [ ] 電池残量 約5%未満
5. メディア
   [INT] 内蔵メモリ(外部メモリ無し)
   [SD] SD／SDHCメモリカード
6. クイックショット
7. 画像サイズ
   [9M] 9M(約900万画素)
   [6M] 6M(約300万画素)
   [4M] 4M(約400万画素)
   [2M] 2M(約200万画素)
   [VGA] VGA(約30万画素)
8. 画質
   [ ] ファイン
   [ ] 標準
   [ ] エコノミ
9. 撮影可能枚数
10. メインフォーカスフレーム
11. 日付
12. セルフタイマー
   [2s] 2秒
   [10s] 10秒
   [10-2s] 10秒+2秒
13. ISO感度
14. [ ] 逆光補正
   [ ] 露出補正
15. 手ぶれ警告サイン
16. 測光方式
   [ ] 中央測光
   [ ] 部分測光
   [ ] 平均測光
17. ホワイトバランス
   [表示無し] 自動
   [ ] 白熱灯
   [ ] 蛍光灯1
   [ ] 蛍光灯2
   [ ] 太陽光
   [ ] 曇り
   [ ] マニュアルWB
18. フォーカスモード
   [表示無し] オートフォーカス
   [ ] 顔認識機能
   [ ] マクロ(近接)
   [ ] 無限

※設定により表示されるアイコンは異なります。

動画モード

1. 動画モードアイコン
2. フラッシュモード
3. ズームインジケーター
4. 電池残量
5. メディア
6. 音声オフアイコン
7. 動画サイズ
8. 画質
9. 撮影可能時間／経過時間
10. メインフォーカスフレーム
11. 日付
12. セルフタイマーアイコン
13. フォーカスモード

※設定により表示されるアイコンは異なります。

再生モード（静止画）▶

1. 音声メモ
2. 電池残量
3. メディア
4. ヒストグラム
5. 動画サイズ
6. 画質
7. ファイル番号
8. フォルダ番号
9. 日付／時間
10. 露出補正
11. 絞り値
12. シャッタ速度
13. DPOFマーク
14. 保護マーク
15. 再生モードアイコン

※設定により表示されるアイコンは異なります。

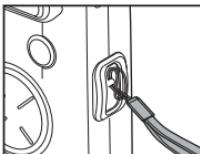
再生モード(動画) ▶

1. 総記録時間
2. ズームインジケーター
3. 経過時間
4. ファイル番号
5. フォルダ番号
6. 再生モード
7. 動画モードアイコン
8. 保護マーク

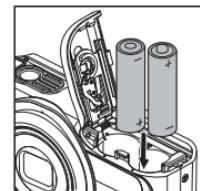
※設定により表示されるアイコンは異なります。

ご使用の前に

ストラップの装着

右図を参照して、ストラップを取り付けてください。

電池の装着

1. 右図を参照して、電池／SDメモリカードカバーをスライドさせて開きます。
2. 電池の+側ー側を確認し、単3アルカリ乾電池2本を正しい方向で装着します。
3. 電池／SDメモリカードカバーを閉めます。

●電池をカメラ本体から着脱する場合は、必ず電源をオフにした状態で行ってください。
●電池は+ー方向に注意し、正しく装着してください。

◆電池残量については、液晶モニタ上のバッテリーアイコンに表示されます。

電池残量 約100%
電池残量 約75%
電池残量 約50%
電池残量 約20%未満
電池残量 約5%未満

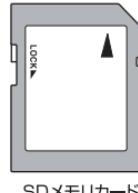
◆単3アルカリ乾電池またはニッケル水素充電池をご使用ください。
ニッケル水素充電池を使用した場合、電池残量表示が均等に表示されませんのでご注意ください。
◆オキシライド乾電池は初期電圧が高く、カメラ本体を破損する恐れがあるため、おすすめできません。
◆電池をカメラの中に入れたまま長期間カメラを使用しないと、電池が消耗します。カメラを使用しないときは電池を取り出してください。
◆カメラの操作に必要な電力を得ることができないマンガン乾電池は、使用できません。
◆電池は、気温0℃以下または40℃以上では正常に動作しない場合があります。カメラを長時間使用すると電池およびカメラの本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。

SD／SDHCメモリカード（別売）を使用する場合

本製品で撮影した画像は、通常カメラ本体の32MB内蔵メモリに記録されます。SDメモリカード（別売）をカメラ底面のSDメモリカードスロットに装着して撮影･録画すると、撮影･録画した画像は自動的にSDメモリカードに記録されます。

SDメモリカード

●このカメラに使用できるメモリカードの仕様は、SDメモリカード32MB～2GB、SDHCメモリカード8GBまでです。
その他の種類のカードを使用しますと製品及びカードが故障する可能性があります。

●すべてのSD／SDHCメモリカードで動作を保証するものではありません。

SD／SDHCメモリカードを装着する

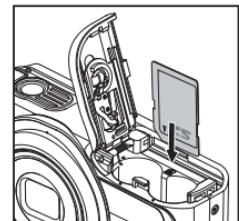
SDメモリカードはカメラ底面にあるSDメモリカードスロットに装着します。

1. カメラの電源をオフにします。
2. 電池／SDメモリカードカバーをスライドさせて開きます。
3. 挿入する方向を確認してから、SDメモリカードをSDメモリカードスロットにカチッと音がするまで押し込みます。
（SDメモリカードを取り出すときも、カチッと音がするまで押し込んでから取り出します）
4. 電池／SDメモリカードカバーを閉めます。

◆新しいSDメモリカードを使用される際は、あらかじめメモリカードの初期化（P.17参照）をしてください。

◆差し込みにくい時は、挿入する方向が間違っている可能性があります。無理に挿入しないでください。

●SDメモリカードをカメラ本体から着脱する場合は、必ずカメラの電源をオフにした状態で行ってください。

●データをパソコンに転送している最中に、SDメモリカードをカメラから引き抜かないでください。
撮影した画像データ、SDメモリカードおよびカメラ本体が破損する恐れがあります。

SD／SDHCメモリカードを使用する前に

◆新品のSDメモリカードは使用前に本製品でフォーマット（初期化）してください。

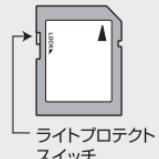
◆SDメモリカードを装着すると、カメラはSDメモリカードを認識し、内蔵メモリを認識しません。

◆この他にも、取り扱いに関する注意事項がP.15に記載されていますので必ずよくお読みください。

◆下記の注意事項をよくお読みになり、正しい取り扱いを行ってください。

●パソコンに接続、データ転送中や、撮影／再生中にSDメモリカードを引き抜かないで下さい。
パソコンとカメラを接続し、撮影したデータをパソコンに転送している最中や、撮影中または再生中にSDメモリカードをカメラから引き抜かないでください。撮影した画像データ、SDメモリカードおよびカメラ本体が破損する恐れがあります。

●SDメモリカードのフォーマット（初期化）はカメラで
本製品にはSDメモリカードをフォーマット（初期化）する機能がついています。
フォーマットは必ず本製品で行ってください。フォーマットすると既に記録されている画像データは全て消去されますのでご注意ください。

●ライトプロテクトスイッチについて
SDメモリカードにはライトプロテクトスイッチ機能がついています。下にスライドすると、SDメモリカードはロックされ、SDメモリカードへの記録／消去が禁止され、保存されている画像などのデータが保護されます。記録／消去する場合はロックを解除してください。

ファイル名／ディレクトリ名を変更しない

パソコンでSDメモリカードに保存されている画像データのファイル名やディレクトリ名を変更したり、カメラで記録された画像データ以外のファイルを書き込まないでください。カメラで認識できなくなり、機能に障害がでる恐れがあります。

●SDメモリカードは精密機器ですので、無理な力を加えたり、乱暴に扱わないでください。また、SDメモリカードが静電気を帯びていると、うまく認識されなかったり、カメラの誤作動など障害が起こる恐れがあります。

●SDメモリカードを使用中、誤作動や故障により記録内容が失われることがあります。記録されたデータの破損、消失につきましては、故障や損害の内容および原因にかかわらず、当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

●SDメモリカードに異常があると思われる場合は、フォーマットすることで正常に動作する場合があります。その際は、本製品のフォーマット機能をお試しください。（フォーマットすると、記録されている画像データは全て消失されますので、あらかじめご了承の上、フォーマットを行ってください。必要に応じてデータをパソコンやCDにコピーしてからフォーマットしてください。）

●電極部（金色の金属部分）が汚れてしまった場合は、乾いた清潔な布などで汚れを軽く拭き取ってください。

メモリのフォーマット

メモリをフォーマット（初期化）する機能です。

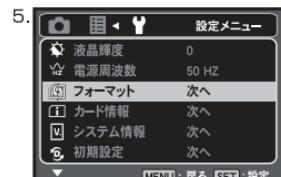
◆カメラにSDメモリカードが装着されている時は、SDメモリカードがフォーマットされます。
SDメモリカードが装着されていない時は内蔵メモリがフォーマットされます。

●このカメラでSDメモリカードを使用する前には、必ずフォーマットを行ってください。
●フォーマットを行うとSDメモリカードに記録された全てのデータが消去され、初期化されますのでご注意ください。
●SDメモリカードのフォーマットは、必ず本製品のフォーマット機能で行ってください（パソコン上でフォーマットした場合、動作保証できません）。
●保護設定を行ったファイルでも、フォーマットを実行すると消去されてしまいます。
●フォーマットする前に必要に応じてファイルをパソコンやCDにコピーしてください。
●SDメモリカードのライトプロテクトスイッチ（P.16参照）でロックしている場合、フォーマットは行われません。

1. 電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押します。
3. 右ボタンを2回押して「設定 」メニューを表示します。
4. 上または下ボタンを押して「フォーマット」を選択し、OKボタンを押します。
5. 上または下ボタンを押して「実行」または「キャンセル」を選択し、OKボタンを押し決定します。

   キャンセル：フォーマットしません。
   実行　　　：フォーマットします。

6. 実行を選択すると撮影画面に戻ります。
   キャンセルを選択した場合、メニューボタンを押してメニュー画面を終了します。

5.
6.

日付と時刻の設定

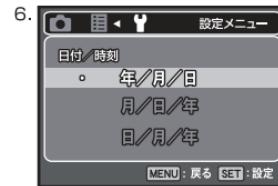
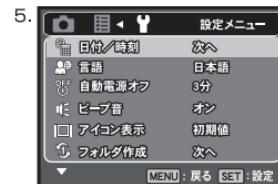
カメラを使い始める前に、日付と時刻の設定を行う必要があります。

1. 電源ボタンを押してカメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押します。
3. 右ボタンを2回押して「設定 」メニューを表示します。
4. 上または下ボタンを押して「日付／時刻」を選択し、OKボタンを押します。
5. 上または下ボタンを押して年月日の表示順を選択し、OKボタンを押します。
6. 左または右ボタンを押して年／月／日／時／分の項目を移動し、上または下ボタンを押して設定します。
7. OKボタンを押して決定します。
8. メニューボタンを押してメニュー画面を終了します。

◆時刻は24時間表示です。

5.

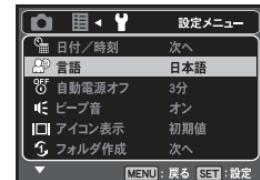
6.

7.

言語の設定（初期設定：日本語）

液晶モニタに表示する言語を設定します。

1. 電源ボタンを押してカメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押します。
3. 右ボタンを2回押して「設定 」メニューを表示します。
4. 上または下ボタンを押して「言語」を選択し、OKボタンを押します。
5. 上または下ボタンを押して表示したい言語を選択し、OKボタンを押し決定します。
6. メニューボタンを押してメニュー画面を終了します。

5.

6.

静止画モード

静止画の撮影

1. 電源ボタンを押して、カメラの電源をオンにします。
2. 静止画撮影モードを起動します。レンズユニットが繰り出します。
   （再生モード ▶ に変更すると、レンズは約30秒後に自動的にカメラ本体へ収納されます。）
3. 液晶モニタで被写体を捉えます。必要に応じてズームを使用して構図を決めます。
4. シャッターボタンを半押ししてカメラをしっかり構えて、シャッターボタンを完全に押し込んで撮影します。
   ピント･露出が決定するとメインフォーカスフレームが緑色になります。
   ピント･露出が合わない場合はメインフォーカスフレームが黄色になります。

①半押し
②撮影

◆ （手ぶれ警告）が液晶モニタに表示された場合、フラッシュの使用あるいは三脚の使用をおすすめします。

◆シャッターボタンを軽く押すと、途中で少し止まるところがあります。ここまで押すことを半押しと呼びます。

◆半押し状態の時、カメラが自動的にピントを合わせます。

ズーム撮影

カメラには3倍光学ズームと4倍デジタルズームが搭載されています。
光学ズームとデジタルズームとの組み合わせで、最大12倍のズーム撮影ができます。

1. ズームインボタン で拡大、ズームアウトボタン で縮小します。
2. デジタルズーム
   a. メニューボタンを押します。
   b. 右ボタンを押して「機能 」メニューを選択します。
   c. 上または下ボタンを押して「デジタルズーム」を選択し、OKボタンを押します。
   d. 再度上または下ボタンを押して「オン」を選択し、OKボタンを押し決定します。
   e. メニューボタンを押してメニュー画面を終了します。
   f. ズームインボタンを押して光学3倍まで拡大します。
   ズームボタンを押し続け、光学ズーム3倍まで拡大すると一度ズームアップが停止しますが、その後デジタルズームが作動します。ズームアウトも同様です。

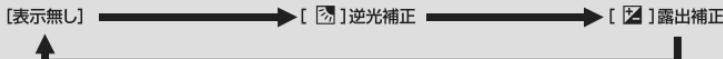
◆動画撮影中は、光学ズームを使用できません。
◆デジタルズームの倍率が大きくなると、撮影した画像の解像度は低下します。
◆カメラの電源がオフになると、デジタルズーム倍率は自動的にリセットされます。
◆デジタルズームの初期設定は「オフ」です。

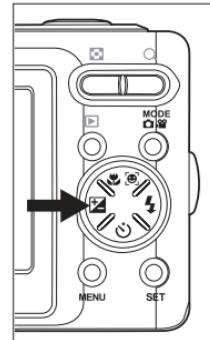
露出補正／逆光補正

撮影時に全体的な明暗を調整します。

被写体と背景との明度の差が大きく、適切な明るさ（露出）を得ることができない場合、
または撮影したい被写体が非常に小さい場合、この設定を使用してください。

1. 露出補正ボタン ／左ボタンを押します。

◆露出補正／逆光補正ボタン を押すごとに、液晶モニタの表示が変わります。

2. 露出補正を選択時、上または下ボタンで露出補正値を調整し、露出補正ボタン を押して決定します。

◆露出値：−2.0 ～ +2.0EV（0.3EV単位）
◆露出値は液晶モニタに表示されます。
◆カメラの電源がオフになっても、設定はリセットされません。
◆モード（シーン）により設定できない場合があります。

撮影状況別設定例

〈高露出値（＋）推奨〉
・白い紙に黒い文字の印刷物
・逆光時
・雪面や空が被写体の大部分を占める場合

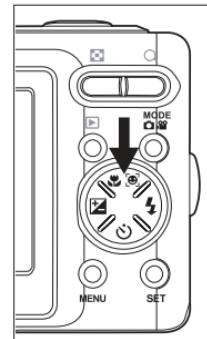
〈低露出値（ー）推奨〉
・暗い背景の中にスポットライトが当たっている場合
・黒い紙に白い文字の印刷物
・反射の弱い被写体（常緑樹や薄暗い葉など）

〈逆光補正（＋1.3EV固定）推奨〉
・背景が明るく、被写体が暗い場合
・被写体の後ろから強い光（太陽など）が当たっている場合

撮影距離

カメラは通常、オートフォーカスを使用して自動で焦点を合わせます。
また、オートフォーカスとは別に撮影状況に合わせて撮影距離を設定することができます。

マクロ／上ボタン 🌷 を押して、フォーカスモードを切り替えます。
フォーカスモードが切り替わるたびに、液晶モニタのアイコン表示が変わります。

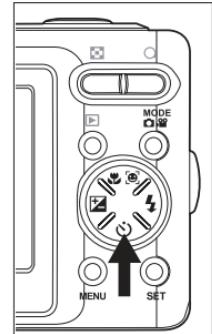
表示無し	オートフォーカス	被写体に合わせてカメラが自動的に焦点を合わせます。 撮影距離：(W)約30cm以上、(T)約35cm以上
🌷	マクロ（近接）	被写体を至近距離から撮影する場合におすすめします。 撮影距離：5cm以上
∞	無限	遠くの被写体を撮影するときにおすすめします。

◆フォーカスボタン 🌷 を押すごとに、液晶モニタの表示が変わります。

[表示無し] オートフォーカス → ☻ → [🌷] マクロ（近接） → [∞] 無限

◆カメラの電源がオフになっても、フォーカスモードの設定はリセットされません。

◆顔認識機能 ☻ はP.26をご覧下さい。

セルフタイマー

セルフタイマーを設定することができます。
セルフタイマー／下 ボタンを押して、セルフタイマーを切り替えます。

1. 液晶モニタで、被写体を捉えます。
2. シャッターボタンを半押しして焦点と露出を決定した後、シャッターボタンを完全に押し込みます。
3. 設定した秒数（液晶モニタに表示されます）が経過した後、シャッターが切られて撮影されます。
   動画の場合は、設定した秒数が経過後から撮影が開始されます。再度シャッターボタンを押すと終了します。

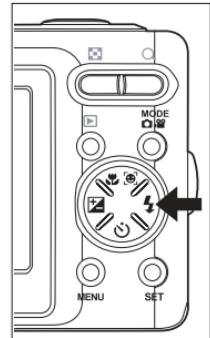
2s	2秒	シャッターボタンを押してから約2秒後にシャッターが切られます。
10s	10秒	シャッターボタンを押してから約10秒後にシャッターが切られます。露出時間の長い撮影時に、ブレを防ぐためにこのモードを使うと有効です（三脚の使用をおすすめします）。
10+2s	10秒+2秒	シャッターボタンを押してから約10秒後にシャッターが切られます。その2秒後にもう一度シャッターが切られます。

◆セルフタイマーは設定後の1枚のみ適用されます。
◆セルフタイマー動作中は赤色LEDが点滅します。

フラッシュ撮影

フラッシュを設定します。フラッシュは撮影状況に応じて設定することができます。
フラッシュ ／右ボタンを押して、フラッシュモードを切り替えます。

表示	モード	説明
表示なし	自動	周辺の光量が不足している場合、自動的にフラッシュが発光します。
	強制発光	どんな状況でもフラッシュが発光します。逆光や蛍光灯の下などでの撮影時におすすめします。
	発光禁止	どんな状況でもフラッシュが発光しません。屋内の照明が強い舞台や室内競技の撮影や、被写体がフラッシュ範囲より離れている場合、動物園など発光が禁止されている場所などにおすすめします。
	赤目軽減機能付き発光	暗い場所などでの撮影時に被写体の目が赤くなるのを最小限に抑えます。明るい場所では発光しません。
S	スローシンクロ	被写体(人物等)だけではなく背景も写し込みます。シャッタースピードが遅くなりますので三脚等の使用をおすすめします。
	強制赤目軽減発光	どんな状況でもフラッシュが発光します。被写体の目が赤くなるのを最小限に抑えます。

◆フラッシュの有効範囲は、約0.5m～2.7mです。
◆動画モード 適用時、フラッシュは使用できません。
◆セルフタイマーで「10+2s」を選択した場合、2枚目は光量が不足する場合があります。
◆カメラの電源がオフになっても設定はリセットされません。

顔認識

人の顔を検出し、自動的にピントを合わせます。最高5人の顔を検出することができます。

1. 静止画モードを確認します。
2. 顔認識／上ボタンを押し、液晶モニタに アイコンを表示します。
3. ピントの中心となる顔は白いフレーム（メインフォーカスフレーム）、その他の顔は灰色のフレームで認識されます。
4. シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。ピントが合うとフレームが緑になります。
   フレームが赤くなった場合は、メインフォーカスフレームにピントが合っていません。
5. シャッターボタンを完全に押し込んで撮影します。

顔認識機能ON

◆以下のような状況では、正しく認識することができません。
　○眼鏡、サングラス、帽子などを付けている場合
　○横を向いていたり、頭を傾けている場合。
◆顔認識は静止画専用メニューです。
◆すべての状況で顔認識機能の動作を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

笑顔検出機能

笑顔が検出されると自動的に撮影されます。

1. メニューボタンを押し、撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「シーン」を選択し、OKボタンを押します。
3. 左または右ボタンを押して「スマイルショット 」を選択し、OKボタンを押すと、撮影画面に戻ります。
4. 構図を決め、シャッターボタンを完全に押します。
5. 笑顔が検知されると、自動的にシャッターが下ります。

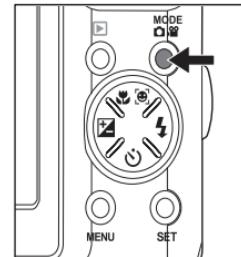
◆二人以上の人を撮影する場合、二人の笑顔が検出された時にシャッターが下ります。
◆5秒以内に笑顔を検出できない場合、自動的にシャッターが下ります。
◆再度、笑顔検出機能を使用する場合は、もう一度シャッターボタンを押します。
◆初期設定では、フラッシュモードは発光禁止 です 。
◆笑顔検出機能は静止画専用メニューです。
◆笑顔検出機能が正常に作動しない場合があります。あらかじめご了承ください。

動画モード

動画の撮影

VGA(640×480)、QVGA(320×240)のサイズで、動画を撮影することができます。
動画に音声も記録できます。

1. モードボタン MODE を押して動画モード にセットします。
2. 液晶モニタで被写体を捉え、撮影する構図を決めます。
3. シャッターボタンを押すと撮影を開始します。再度シャッターボタンを押すと撮影を終了し、動画を保存します。

◆撮影可能時間は、保存するメモリ残量と撮影する被写体によって変わります。
◆動画モードでは、フラッシュは使用できません。
◆動画撮影中は、ズームを使用できません。
◆書き込み速度の低いSDメモリカードがカメラに装着されていると、VGA撮影を中止する場合があります。
この場合、小さい動画サイズを選択してください。

●ファイルの保存中に電池／SDメモリカードカバーを開けないでください、また、乾電池およびSDメモリカードを取り外さないでください。
SDメモリカードに損傷を与えたり、データが破損する場合があります。

静止画の再生

液晶モニタで静止画を再生します。

1. 再生ボタン▶ を押して、再生モードにします。
   最後に保存した静止画または動画が液晶モニタに表示されます。
2. 左または右ボタンで前または後の画像に移動することができます。
   また、ズームボタンを押して静止画の拡大･縮小表示をすることができます。
   ズームインボタン で拡大、ズームアウトボタン で縮小します。
   拡大した状態で上／下／左／右ボタンを使用して表示範囲を移動することができます。

◆動画は のアイコンが表示されます。

動画の再生

液晶モニタで動画を再生します。

1. 再生ボタン▶ を押して、再生モードにします。
   最後に保存した静止画または動画が液晶モニタ に表示されます。
2. 左または右ボタンを押して動画を選択します。
3. OKボタンを押すと、再生を開始します。
   再生中に右ボタンを押すと早送り、左ボタンを押すと巻き戻します。
   OKボタンを押すと再生を一時停止し、再度OKボタンを押すと再生を再開します。
   下ボタンを押すと再生を停止し、動画の最初に戻ります。

◆動画の回転、拡大表示はできません。

◆本製品はスピーカーを内蔵していないため、音声は再生されません。動画に記録された音声を聞くには、動画をパソコンに取込み、付属のCD-ROMソフト等を使用して視聴してください。

サムネイル表示

ファイルをサムネイル表示に切り替えることができます。
見たいファイルを素早く探すことができます。

1. 再生ボタン▶ を押します。最後に撮影した静止画または動画が液晶モニタに表示されます。
2. ズームアウトボタン を押すと、三画面表示のサムネイル表示に切り替わります。
3. 上または下ボタンを押して、表示したいファイルを選択します。
   左または右ボタンを押すと、大きく移動します。
4. ズームインボタン またはOKボタンを押すと、1枚表示に戻ります。

◆サムネイル表示では、 、 、 アイコンはそれぞれ小さく表示されます。

静止画メニュー

静止画モードの基本設定を行います。カメラの電源がオフになっても設定は解除されません。

1. モードボタンを押して静止画モード にセットします。
2. メニューボタンを押し、「撮影メニュー 」を表示します。
3. 上または下ボタンを押して項目を選択し、OKボタンを押して各設定画面を表示します。
4. 上または下ボタンを押して設定･数値等を選択し、OKボタンを押し決定します。
5. メニューボタンを押してメニュー画面を終了します。

詳細機能設定 静止画メニュー

モード(シーン)の設定(初期設定：P)

21種類のモード(シーン)を選択して、撮影状況に合わせた設定にすることができます。

アイコン	モード	説明
P	プログラムAE	撮影状況に応じて、自動的に設定を行います。
	スマイルショット	シャッター半押し時、笑顔が検出されると自動的に撮影されます。
	手振れ補正(電子式)	撮影する際、手ぶれの影響を最小限にします。
	男性のポートレイト	人物(男性)に焦点を合わせ、背景をぼかして撮影します。
	女性のポートレイト	人物(女性)に焦点を合わせ、背景をぼかして撮影します。
	風景	焦点範囲を無限に設定し、風景をくっきりと鮮やかに撮影します。
	スポーツ	動きの速い被写体の撮影に適しています。
	夜景ポートレイト	夕方または夜景背景で、人物を撮影するのに適しています。
	ナイトシーン	夜景のような暗い場面の撮影に適しています。
	キャンドルライト	ロウソクの明かりの中での撮影時に選択すると、雰囲気のある写真を撮影することができます。
	花火	きれいに花火を撮影することができます。シャッター速度が遅くなるため、三脚の使用をおすすめします。
TEXT	テキスト	印刷物などの白黒のはっきりした被写体の撮影に適しています。
	夕景	夕日の撮影に適しています。深い色味を演出します。
	朝日	朝日の撮影に適しています。深い色味を演出します。
	水しぶき	水しぶきの上がる場所での撮影に適しています。
	水流	水流の撮影に適しています。
	雪	暗い被写体と青み掛からない明白な雪景色などの撮影に適しています。
	浜辺	明るい浜辺または日の当たる水面の撮影に適しています。
	ペット	ペットの撮影に適しています。ペットの目線で撮影してください。
	森林	森林等の緑色の背景の撮影に適しています。
	ユーザー設定	この機能は使用できません。

詳細機能設定 静止画撮影メニュー

静止画サイズ（初期設定：9M）

撮影する静止画サイズを設定します。下記項目から選択してください。

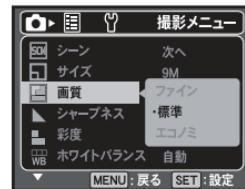
[**9M**] 9M 約900万画素
[**6M**] 6M 約600万画素
[**4M**] 4M 約400万画素
[**2M**] 2M 約200万画素
[**VGA**] VGA 約30万画素

◆画素数が多いほど高画質ですが、容量も大きくなります。

画質（初期設定：標準）

撮影する静止画の画質（圧縮率）を設定します。下記項目から選択してください。

[ ] ファイン
[ ] 標準
[ ] エコノミ

◆高画質なほど鮮明な画像となりますが、容量も大きくなります。

シャープネス（初期設定：標準）

撮影する静止画の鮮鋭度を設定します。下記項目から選択してください。

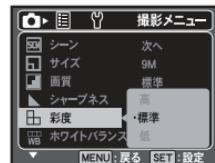
ハード ：シャープな静止画に仕上がります。
標準 ：効果を加えません
ソフト ：ソフトな静止画に仕上がります。

◆モード（シーン）により設定できない場合があります。

彩度（初期設定：標準）

撮影する静止画の彩度（色の濃さ）を設定します。

高　：彩度を高めた画像にします。
標準：効果を加えません。
低　：彩度を抑えた画像にします。

◆モード（シーン）により設定できない場合があります。

ホワイトバランス（初期設定：自動）

静止画の撮影時、様々な照明の状況に応じてホワイトバランスを設定し、肉眼の色調に近付けます。設定できる項目は以下の通りです。

アイコン	項目	説明
[表示なし]	自動	：自動で調整します。
[ ]	白熱灯	：室内の白熱灯下での撮影に適しています。
[ ]	蛍光灯1	：薄い赤味の蛍光灯下での撮影に適しています。
[ ]	蛍光灯2	：薄い青味の蛍光灯下での撮影に適しています。
[ ]	太陽光	：屋外の晴天時の撮影に適しています。
[ ]	曇り	：屋外の曇天や木陰の撮影に適しています。
[ ]	マニュアルWB	：特殊な撮影条件に対応したホワイトバランスを設定します。

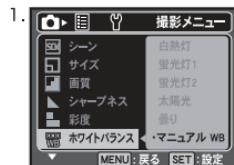
〈マニュアルWBの操作方法〉

1. 上または下ボタンでマニュアルWBを選択し、OKボタンを押します。
2. 上または下ボタンで「画像を使用」または「新しいWB」を選択し、OKボタンを押します。
   画像を使用：設定したマニュアルWBで続けて撮影します。
   新しいWB　：新しいマニュアルWBを設定します。
3. 新しいWBを選択した場合
   上または下ボタンで「実行」を選択し、できるだけ灰色に近い単色を液晶モニタで捉えOKボタンを押し、マニュアルWBを設定します。

◆より正確なホワイトバランスをお望みのお客様に(株)ケンコーでは「18%グレー標準反射板32cm角スクエア」を用意しています。カメラ量販・専門店でお求めください。

◆薄い灰色のハンカチ等を用意しておくのも方法のひとつです。

◆モード（シーン）により設定できない場合があります。

1.
2.
3.

詳細機能設定 静止画撮影メニュー

ISO感度（初期設定：自動）

撮影時の感度を設定します。感度を上げると暗い場所での撮影も可能になりますが、ノイズが増え、画質が低下します。
ノイズが気になる場合は、ISO感度をなるべく低く設定してください。

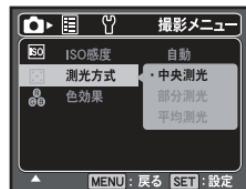
シーンモードがP（自動）の時に設定できます。下記項目から選択してください。

自動 ／ 50 ／ 100 ／ 200 ／ 400 ／ 640

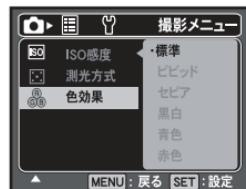
測光方式（初期設定：中央測光）

静止画撮影時の露出計測方法を選択します。下記項目から選択してください。

[⁝] **中央測光** ： 画面全体の明るさから平均値を計測します。特に被写体の中央の明るさを重視します。
[▪] **部分測光** ： 画面内の一点を基準にして露出を計測します。
[■] **平均測光** ： 被写体を平均的に測光します。

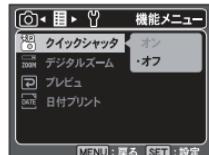
◆モード（シーン）により設定できない場合があります。

色効果（初期設定：標準）

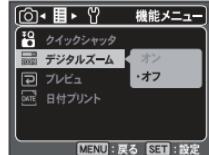
撮影する静止画のカラーモードを設定します。下記項目から選択してください。

標準 ：色効果を加えません。
ビビット：色味をはっきりと強調します。
セピア ：セピア画像にします。
黒白 ：白黒画像にします。
青色：青色フィルターを使用した様な効果が得られます。
赤色：赤色フィルターを使用した様な効果が得られます。
緑色：緑色フィルターを使用した様な効果が得られます。
黄色：黄色フィルターを使用した様な効果が得られます。
紫色：紫色フィルターを使用した様な効果が得られます。

クイックシャッタ（初期設定：オフ）

クイックシャッタのオン／オフを選択します。下記項目から選択してください。

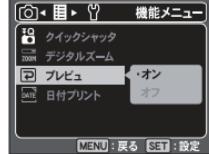
オン：シャッターボタンを押すと、AF機能が完了する前にシャッタを押せます。

オフ：シャッターボタンを押すと、AF機能が完了してからシャッタを押せます。

デジタルズーム（初期設定：オフ）

デジタルズームのオン／オフを切り替えます。
ズームについてはP.21をご覧ください。

プレビュ（初期設定：オン）

静止画を撮影した直後、撮影した静止画を液晶モニタに表示します。

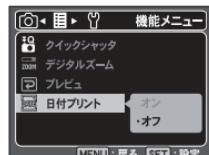
オン：表示します。

オフ：表示しません。

日付プリント（初期設定：オフ）

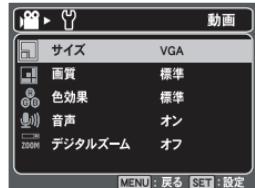
撮影した日付を静止画にプリントすることができます。

オフ：日付プリント設定をしません。　**オン**：日付プリント設定をします。

◆この設定は撮影前に行ってください。

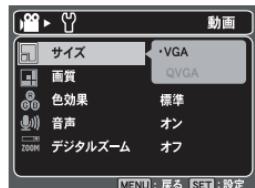
◆設定をオンにする場合、日付／時刻が合っているかご確認ください。

動画メニュー

動画モードの基本設定を行います。この設定は、カメラの電源がオフになっても削除されません。

1. モードボタン MODE を押して、動画モード にセットします。
2. メニューボタンを押して、動画メニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して項目を選択し、OKボタンを押して各設定画面を表示します。
4. 上または下ボタンを押して設定を選択し、OKボタンを押します。
5. メニューボタンを押してメニュー画面を終了します。

動画サイズ（初期設定：VGA）

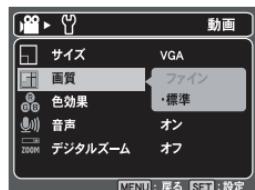
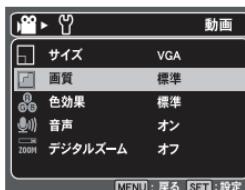
撮影する動画サイズを設定します。設定できる項目は下記項目から選択してください。

[VGA] 640 × 480
[QVGA] 320 × 240

◆サイズが大きいほど高画質ですが、容量も大きくなります。

画質（初期設定：標準）

撮影する動画の画質を設定します。設定できる項目は下記項目から選択してください。

[ ] ファイン
[ ] 標準

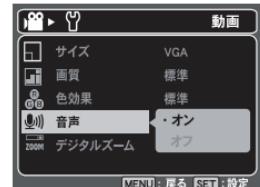
◆高画質なほど鮮明な画像となりますが、容量も大きくなります。

色効果（初期設定：標準）

P.36「色効果」をご覧ください。

音声（初期設定：オン）

動画撮影時に音声のオン／オフを切り替えます。

オフ：音声を録音しません。

オン：音声を録音します。

デジタルズーム（初期設定：オフ）

デジタルズームのオン／オフを切り替えます。
ズームについてはP.21をご覧ください。

再生メニュー

再生モードの基本設定を行います。

1. 再生ボタン ▶ を押して、再生モード ▶ にします。
2. メニューボタンを押して、「再生 」メニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して項目を選択し、OKボタンを押して各設定画面を表示します。
4. 上または下ボタンを押して設定･数値等を選択し、OKボタンを押し決定します。
5. メニューボタンを押してメニュー画面を終了します。

削除

不要なファイルを削除します。

1. 削除を選択し、OKボタンを押します。
2. 上または下ボタンで「一枚」または「すべて」を選択し、OKボタンを押します。

　一枚　：再生モードで表示されている一枚のファイルを削除します。
　すべて：内蔵メモリまたはSDメモリカードに記録されたすべてのファイルを削除します。

2.
削除
削除
・一枚
すべて
(SDカード)
MENU：戻る SET：設定

〈一枚を選択した場合〉

A-1. あらかじめ再生モードで、左または右ボタンで削除するファイルを選択(表示)し、メニューボタンを押します。

A-2. 上または下ボタンで「削除」を選択し、OKボタンを押します。

A-3. 上または下ボタンで「一枚」を選択し、OKボタンを押します。

A-4. 上または下ボタンで「キャンセル」または「実行」を選択し、OKボタンを押して決定します。

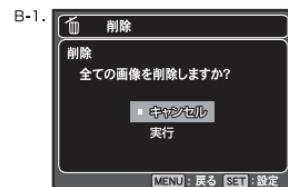
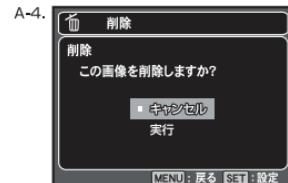
　キャンセル：削除しません。
　実行　　　：選択したファイルを削除します。

A-4.
削除
削除
この画像を削除しますか?
キャンセル
実行
MENU：戻る SET：設定

〈すべてを選択した場合〉

B-1. 上または下ボタンを押して「キャンセル」または「実行」を選択し、OKボタンを押して決定します。

　キャンセル：削除しません。
　実行　　　：すべてのファイルを削除します。

B-1.
◆削除したファイルは復元できませんのでご注意ください。

詳細機能設定 再生メニュー

赤目修正

撮影した静止画の赤目を抑えることができます。

1. 「赤目修正」を選択し、OKボタンを押します。
2. 上または下ボタンを押して「キャンセル」または「実行」を選択し、OKボタンを押します。

   キャンセル：赤目修正をしません。
   実行　　　：赤目修正をします。
3. 「上書きしますか?」が表示されます。
   上または下ボタンを押して「キャンセル」または「上書きします」を選択し、
   OKボタンを押して決定します。

   キャンセル　：赤目修正したファイルを保存しません。
   上書きします：赤目修正したファイルを保存します。

1.

2.

3.

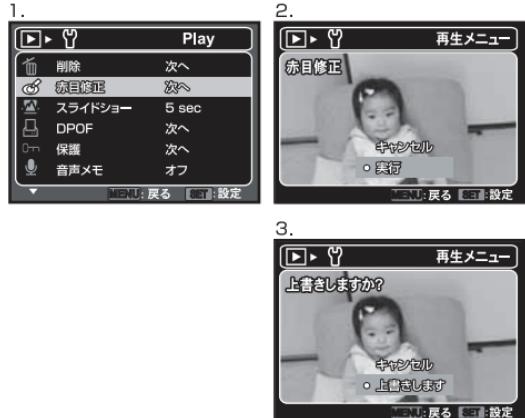
◆修正した画像は、元のファイルに上書きされて保存されます。
◆この機能は静止画専用メニューです。

スライドショー（初期設定：5秒）

一定の間隔で、メモリに記録されている全ての静止画を表示します。動画は最初のシーンが静止した状態で表示されます。

1. 上または下ボタンで下記設定を選択します。

   3秒　：3秒間隔で表示します。
   5秒　：5秒間隔で表示します。
   10秒：10秒間隔で表示します。

2. OKボタンを押します。スライドショーが開始します。
3. 終了する場合は、OKボタンを押し、再生モードに戻ります。

DPOF

〈DPOFとは〉

DPOF(デジタル・プリント・オーダー・フォーマット)は、DPOFをサポートするプリンタを使い、SDメモリカードに保存されている静止画を直接プリントアウトしたり、写真店にプリントサービスを依頼する場合に手間を省くことができます。

1. 上または下ボタンを押して「DPOF」を選択し、OKボタンを押します。
2. 上または下ボタンを押して「一枚」または「すべて」を選択し、OKボタンを押します。

　「一枚」　：選択した画像(静止画)をDPOF設定します。
　「すべて」：すべての画像(静止画)をDPOF設定します。

〈一枚を選択した場合〉

A-1. 上または下ボタンを押して「プリント枚数」を選択し、シーン／OKボタンを押します。

A-2. 上または下ボタンを押してプリント枚数を設定します。0〜9枚まで設定できます。

A-3. OKボタンを押します。

A-4. 上または下ボタンを押して「日付プリント」を選択し、OKボタンを押します。

A-5. 上または下ボタンを押して「オフ」または「オン」を選択し、OKボタンを押します。

　「オフ」：日付プリントをしません。
　「オン」：日付プリントをします。

A-6. 上または下ボタンを押して「プリント」を選択し、OKボタンを押します。

A-7. 上または下ボタンを押して「キャンセル」または「実行」を選択し、OKボタンを押します。

　「キャンセル」：選択した画像をDPOF設定をしません。
　「実行」　　：選択した画像をDPOF設定をします。
　　　　　　　　DPOF設定した画像は、アイコンと枚数が表示されます。

A-8. 他の画像もDPOF設定する場合は、左または右ボタンを押し画像を選択し、A-1から繰り返します。設定を解除する場合は、プリント枚数を0枚に再設定し、「プリント」を実行してください。

●次ページへ続く

1.

2.

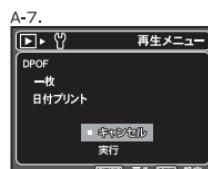
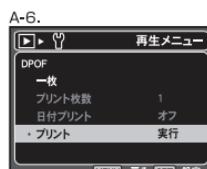
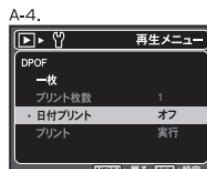
A-1.

A-2.

A-4.

A-5.

A-6.

A-7.

〈すべてを選択した場合〉

B-1. 上または下ボタンを押し「プリント枚数」を選択し、OKボタンを押します。

B-2. 上または下ボタンを押し、枚数を設定します。0〜9まで設定できます。

B-3. OKボタンを押します。

B-4. 「日付プリント」を、P.43〈一枚を選択した場合〉と同様に指定します。

B-5. 上または下ボタンを押して「プリント」を選択し、OKボタンを押します。

B-6. 上または下ボタンで「キャンセル」または「実行」を選択し、シーン／OKボタンを押し決定します。

「キャンセル」：すべての画像をDPOF設定しません。

「実行」：すべての画像をDPOF設定します。
DPOF設定した画像は、アイコンと枚数が表示されます。

設定を解除する場合は、プリント枚数を0枚に再設定し、「プリント」を実行してください。

◆この機能は静止画専用メニューです。

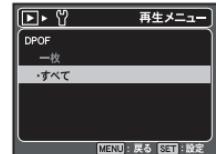
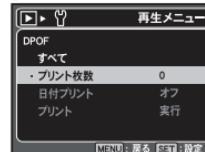
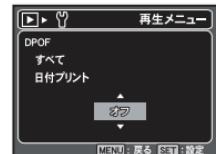
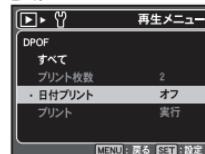
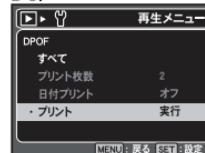
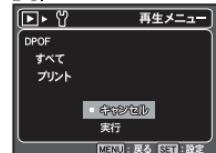
B-1.

B-2.

B-4.

再生メニュー
DPOF
すべて
日付プリント
オフ
MENU：戻る SET：設定

B-5.

B-6.

保護

ファイルの誤消去を防ぐために保護をします。

1. 上または下ボタンを押して「保護」を選択し、OKボタンを押します。
2. 上または下ボタンを押して「一枚」、「すべて」のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

　一枚　：一枚の静止画または動画を保護します。
　すべて：全ての静止画･動画を保護します。

〈一枚を選択した場合〉

A-1. あらかじめ保護する画像を選択します。

A-2. 上または下ボタンを押して「設定」、「保護解除」、「戻る」のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

　設定　　：保護します。
　保護解除：保護を解除します。
　戻る　　：保護しません。

A-3. 設定を選択しOKボタンを押すと、表示されていた画像が保護され、O┳ アイコンが表示されます。

〈すべてを選択した場合〉

B-1. 上または下ボタンを押して「設定」、「保護解除」、「戻る」のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

　設定　　：全ての画像を保護します。
　保護解除：保護を解除します。
　戻る　　：保護しません。

B-2. 設定を選択し、OKボタンを押すと全ての画像が保護されます。全ての画像にO┳アイコンが表示されます。

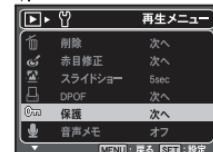
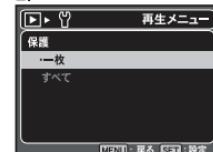
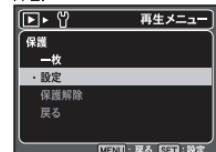
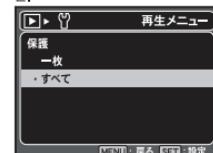
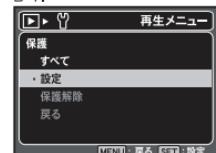
1.

2.

保護
・一枚
すべて
MENU：戻る SET：設定

A-2.

2.

B-1.

音声メモ（初期設定：オフ）

撮影した静止画に、最大30秒間の音声メモを付けることができます。

1. 上または下ボタンを押して「音声メモ」を選択し、OKボタンを押します。
2. 上または下ボタンを押して「オフ」または「オン」を選択し、OKボタンを押し決定します。
   オフ：音声メモを録音できません。
   オン：音声メモを録音できます。
3. メニューボタンを押し、再生モードに戻ります。
4. 左または右ボタンを押して、音声メモを付加する静止画を選択します。
5. シャッターボタンを押すと、音声メモを付加できます。
6. 再度シャッターボタンを押すと、音声メモを終了します。
   付加できる時間は、最大約30秒間です。約30秒になると、自動的に終了します。
   音声メモが付加されたファイルには アイコンが表示されます。

◆この機能は静止画専用メニューです。

◆音声メモの付加が終了しましたら、オフに再設定して誤操作を防止してください。

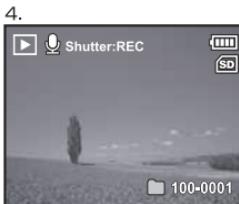
◆カメラでは音声の再生ができません。パソコンで再生してください。

◆音声メモのみの削除はできません。

1.

2.

4.

6.

カードへコピー

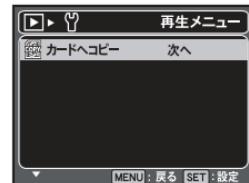
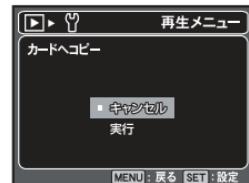
内蔵メモリからSDメモリカードへファイルをコピーすることができます。

1. 上または下ボタンを押して「カードへコピー」を選択し、OKボタンを押します。
2. 上または下ボタンを押して「キャンセル」または「実行」を選択し、OKボタンを押して決定します。

キャンセル：内蔵メモリの画像を、SDメモリカードにコピーしません。
実行　　　：内蔵メモリの画像を、SDメモリカードにコピーします。

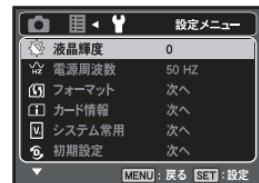
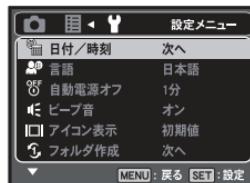
◆すべての内蔵メモリの画像がSDメモリカードにコピーされます。
この操作を行う前に、あらかじめSDメモリカードをカメラに装着しておく必要があります。

1.

2.

設定メニュー

カメラの様々な設定を行います。

1. メニューボタンを押します。
2. 右ボタンを2回押して「設定 」を選択します。
3. 上または下ボタンを押して項目を選択し、OKボタンを押して各設定画面を表示します。
4. 上または下ボタンを押して設定･数値等を選択し、OKボタンを押し決定します。
5. メニューボタンを押してメニュー画面を終了します。

設定メニューは、静止画モード ・動画モード ・再生モード のいずれからも表示することができます。

日付／時刻

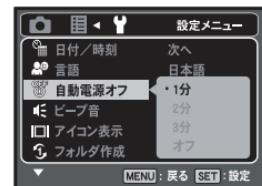
P.18「日付／時刻」をご覧ください。

言語

P.19「言語の設定」をご覧ください。

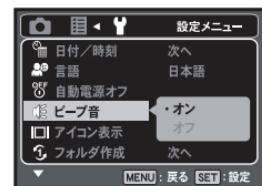
自動電源オフ（初期設定：1分）

電力節約のため、カメラを操作しない時間が一定時間続くと、カメラの電源は自動的にオフになります。
下記項目から選択し、OKボタンを押して決定します。

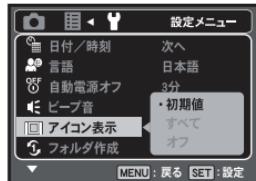
1分：1分間カメラを操作しないと電源をオフします。
2分：2分間カメラを操作しないと電源をオフします。
3分：3分間カメラを操作しないと電源をオフします。
オフ：自動的に電源をオフしません。

ビープ音（初期設定：オン）

カメラの操作音のオン／オフを切り替えます。下記項目から選択し、OKボタンを押して決定します。

オン：操作音をオンにします。
オフ：操作音をオフにします。

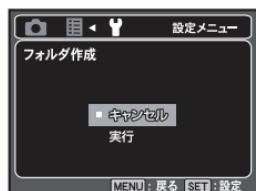
◆オフに設定すると、シャッター音もオフになります。

アイコン表示（初期設定：初期値）

カメラ情報の表示を選択することができます。

初期値 ：初期設定
すべて ：設定されているアイコンをすべて表示します。
オフ ：すべてのアイコンを表示しません。

フォルダ作成（フォルダ番号リセット）

SDメモリカード内に新しいフォルダを作成します。設定後、撮影した画像のファイル名は新たに「0001」から始まります。

1. 上または下ボタンを押して「フォルダ作成」を選択し、OKボタンを押します。
2. 上または下ボタンを押して「キャンセル」または「実行」を選択し、OKボタンを押して決定します。

キャンセル ：新しいフォルダを作成しません。
実行 ：新しいフォルダを作成します。

液晶輝度（初期設定：0）

液晶モニタの明るさを調節します。上ボタンを押すと明るくなり、下ボタンを押すと暗くなります。
明るくすると屋外でも見えやすくなりますが、電池の消耗が早くなります。

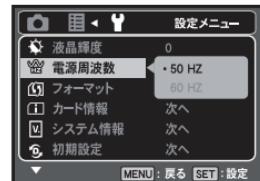
5 明るくします
～
0 標準
～
−5 暗くします

詳細機能設定 設定メニュー

電源周波数（初期設定：50Hz）

撮影の地域によって正しい周波数を選択し、蛍光灯のチラツキを抑制します。
下記項目から選択し、OKボタンを押し決定します。

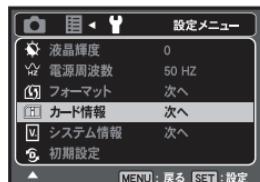
50Hz ：電源周波数を50Hzに設定します。
60Hz ：電源周波数を60Hzに設定します。

◆日本では50Hzと60Hzの交流電源が使われています。
静岡県の富士川から新潟県の糸魚川あたりを境に東側が50Hz、西側が60Hzです。

フォーマット

P.17「フォーマット」ご覧ください。

カード情報

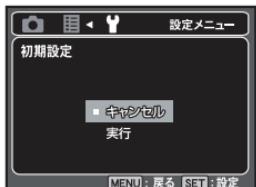
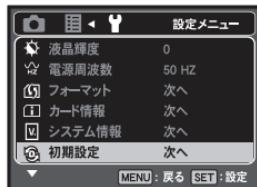
SDメモリカードまたは内蔵メモリの残量を表示します。

◆メモリ残量は目安です。実際と異なる場合があります。

システム情報

カメラのバージョン情報を表示します。

初期設定

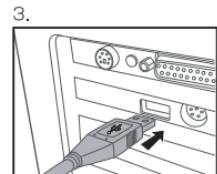
カメラの各種設定を工場出荷状態に戻します。日付／時刻、言語はリセットされません。
下記項目から選択し、OKボタンを押し決定します。

キャンセル：出荷状態に戻しません。
実行　　　：出荷状態に戻します。

パソコンへ接続する

1. パソコンの電源を入れて付属のUSB-PC接続ケーブルを接続します。
2. カメラの電源をオンします。
3. カメラのUSB接続端子に、USB-PC接続ケーブルを接続します。
4. USBモードが表示されます。上または下ボタンを押して「PC」を選択し、OKボタンを押します。
   自動的にカメラの液晶モニタはオフになります。
   初回のみ、パソコンのモニタに「新しいハードウェアが見つかりました」と小さく表示され、
   しばらくすると「新しいハードウェアの使用準備が出来ました」と表示されます。
5. [スタート]→[マイコンピュータ]をクリックします。[リムーバブルディスク]※というドライブが表示されます。
   ※お使いのパソコン環境により、名称が異なる場合があります。
6. [リムーバブルディスク]→[DCIM]→[100DSCIM]フォルダの順にダブルクリックしてフォルダを開いてください。
   記録した全ての静止画と動画は、この[DCIM]内に保存されています。

3.

4.

●次ページへ続く

パソコンとの接続

Macintoshの場合

デスクトップ上の[リムーバブルディスク]のアイコンをダブルクリックします。iPhotoがインストールされている場合は、自動的に画像を読み込む場合があります。

◆パソコンへのデータ転送中にカメラの電源を切らないでください。撮影した画像データが破損する恐れがあります。
◆Macintoshはサポート対象外です。あらかじめご了承ください。

転送時のご注意

画像をパソコンに取り込む際には、以下の注意事項を必ず守ってください。

● [リムーバブルディスク]からコピーしている際（画像取り込み時）は、USB-PC接続ケーブル、SDメモリカードを絶対に抜かないでください。内蔵メモリ、SDメモリカードが破損する恐れがあります。
● [リムーバブルディスク]内にあるフォルダ及びファイルの名前を変更しないでください。
● [リムーバブルディスク]内にパソコンからデータなどをコピーしないでください。カメラの動作が不安定になる原因になります。
● [リムーバブルディスク]をパソコンでフォーマットしないでください。
● [DCIM]フォルダ内にあるファイルデータは、カメラ内に保存されているファイルデータを表示しています。このフォルダにあるデータを削除してしまうと、カメラ内の画像が消去されてしまいますのでご注意ください。

PCカメラとして使用する

PCカメラとして使用します。
カメラをPCと接続する前に、PC-CAMドライバをパソコンにインストールしてください。

PCカメラドライバのインストール

専用PCカメラドライバのインストール前に、カメラとPCは接続しないでください。

1. 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。
2. インストール画面から「INSTALL PC Cam DRIVER」をクリックします。
3. 画面の指示に従いインストールを続けます。
4. インストールが完了しましたらパソコンを再起動し、ドライバを有効にします。
5. カメラとパソコンの電源をオンします。
6. 付属のUSB-PC接続ケーブルでカメラとパソコンを接続します。
7. カメラの液晶モニタにUSBモードが表示されます。
   上または下ボタンを押して「PCカメラ」を選択し、OKボタンを押します。
   カメラの液晶モニタは自動的にオフになります。
8. 初回のみ「新しいハードウェアが見つかりました」と表示され、しばらくすると「新しいハードウェア
   インストールされ使用準備ができました」と表示され使用できるようになります。
9. パソコンの「スタート」→「マイコンピュータ」をクリックして開きます。
   「USBビデオ デバイス」をダブルクリックします。
   画像がパソコンモニタに表示され、PCカメラとして使用できます。
   Media Impressionを起動して「Web カメラ」をクリックすると、しばらくして画像が表示されます。
10. 終了する場合は、各OSに適した安全な方法でUSBケーブルを外してください。

2.

7.

USB
PC
PictBridge
次へ
PCカメラ
SET : 設定

◆PCカメラ機能は、Windowsのみ使用可能です。Macintoshでは使用できません。
◆サイズは320×240です。

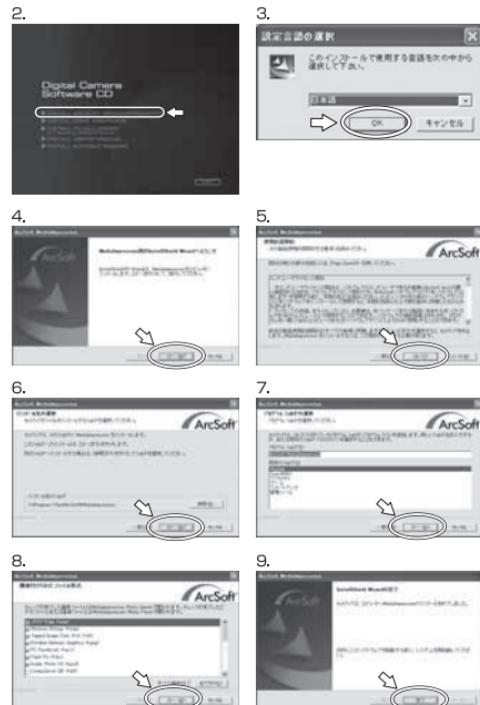
付属アプリケーションのインストール

Media Impressionのインストール

ファイルの管理・サウンドトラック・ムービーの作成・スライドショーの作成・電子メールへの画像添付・写真のプリント・Web サイト用の動画作成など、様々な機能を備えています。

1. 付属の CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
2. 「INSTALL ARCSOFT MEDIA IMPRESSION」をクリックします。
   インストール画面が自動的に立ち上がります。
   自動的に立ち上がらない場合は、「スタート」→「マイコンピュータ」→
   「CD-ROM ドライブ (パソコンにより表示が異なる場合があります)」の順にクリックしてください。
3. 設定言語の選択が表示されます。「日本語」等を選択し、「OK」をクリックします。
4. Media Impression 用の Install Shield Wizard へようこそ が表示されます。「次へ」をクリックします。
5. 使用許諾契約が表示されます。内容を確認後、同意する場合は「はい」をクリックします。
6. インストール先の選択が表示されます。確認後、「次へ」をクリックします。
7. プログラムフォルダの選択が表示されます。確認後、「次へ」をクリックします。
   インストールが開始されます。
8. 関連付けられたファイル形式が表示されます。「次へ」をクリックします。
9. Install Shield Wizard の完了が表示されます。「完了」をクリックします。
10. パソコンを再起動して、ソフトを有効にします。
11. デスクトップに Media Impression のアイコンが自動的に作成されます。

◆Macintoshではサポート対象外です。
◆Windows2000／XP／Vistaをご使用の方は、
ソフトウェアのインストールを行い、管理者モードで使用してください。
◆使用方法の詳細は、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

2.
3.
4.
5.
6.
7.
8.
9.

ソフトウェアのインストール

Print Creations のインストール

用意されたレイアウトとテンプレートから文字を追加して、オリジナルの写真を制作することができます。

1. 付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットします。自動的にインストール画面が立ち上がります。
2. 「INSTALL PRINT CREATIONS」をクリックします。
3. Media Impression(P.56)を参考に、画面の指示に従ってインストールを進めます。
4. 「Install Shield Wizardの完了」が表示されます。「完了」をクリックします。
5. 最初のインストール画面が表示されます。「EXIT」をクリックし、CD-ROMを取り出します。
6. パソコンを再起動して、ソフトを有効にします。
7. デスクトップに Print Creations のアイコンが自動的に作成されます。

◆Macintoshではサポート対象外です。
◆Windows2000／XP／Vistaをご使用の方は、ソフトウェアのインストールを行い、管理者モードで使用してください。
◆使用方法の詳細は、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

2.

4.

5.

ソフトウェアのインストール

Acrobat Readerのインストール

付属の CD-ROM には、英文の取扱説明書が格納されています。必要に応じてインストールしてください。
取扱説明書を読むには、Acrobat Reader が必要です。
お使いのパソコンに Acrobat Reader がインストールされていない場合は、付属 CD-ROM よりインストールしてください。

1. 付属の CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブに入れます。
2. 「INSTALL ACROBAT READER」をクリックします。
3. 画面の指示に従ってインストールを進めてください。
4. インストールが終了すると、最初のインストール画面が表示されます。
5. デスクトップに Acrobat Reader 5.0 のアイコンが自動的に作成されます。

2.

取扱説明書(英文)のインストール

1. 付属の CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブに入れます。自動的にインストール画面が立ち上がります。
2. 「INSTALL USER' S MANUAL」をクリックします。
3. 画面の指示に従ってインストールを進めてください。
4. 英文の取扱説明書が表示されます。
5. データとしてパソコンに取り込む場合は「File」をクリックし、「Save A Cope」をクリックします。
   保存する場所を指定して「Save」をクリックします。
   保存すると、取扱説明書 (英文) を見るたびに、CD-ROM の挿入の必要がなくなります。
6. 読み終わりましたら、右上の「×」をクリックして終了します。
7. 最初のインストール画面が表示されますので、「EXIT」をクリックしてインストールを終了し、
   付属 CD-ROM をドライブから取り除きます。

2.

ダイレクトプリント（PictBridge対応プリンタのみ対応）

カメラをPictBridge対応プリンタに接続して、静止画をカメラから直接プリントすることができます。
動画はプリントできません。

1. プリンタの電源を入れて、付属のUSB-PC接続ケーブルを接続します。
2. カメラのUSB-PC接続端子に、付属のUSB-PC接続ケーブルを接続します。
3. カメラの電源を入れます。USBモードが表示されます。
4. 上または下ボタンを押して「PictBridge」を選択し、OKボタンを押します。
   カメラがPictBridge対応プリンターに接続されると、PictBridgeメニューがモニタに表示されます。
5. 上または下ボタンを押して「画像」を選択し、OKボタンを押します。
6. 上または下ボタンを押して下記項目を選択し、OKボタンを押します。

一枚　：画像を選択してプリントします。
すべて：保存されたすべての画像（静止画）をプリントします。
DPOF：DPOF設定でプリントします。
戻る　：画像の選択設定を終了します。

〈一枚を選択した場合〉

A-1. 左または右ボタンを押してプリントする画像を選択します。
A-2. 上または下ボタンを押してプリント枚数を指定します。
　99枚まで指定できます。
A-3. 他の画像もプリントする場合は、左または右ボタンを押して画像を選択します。
A-4. 上または下ボタンを押してプリント枚数を指定します。
A-5. プリントする画像と枚数設定を終了する場合は、OKボタンを押します。

〈すべてを選択した場合〉

B-1. 上または下ボタンを押してプリント枚数を指定します。
B-2. 設定ボタンを押します。

●次ページへ続く

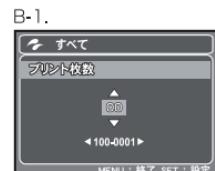
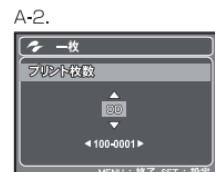
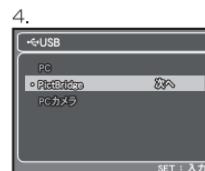
4.

5.

6.

A-2.

6.

B-1.

プリンタとの接続

〈DPOFを選択した場合〉

C-1. DPOF設定でプリントします。

C-2. 日付プリント、用紙サイズ、レイアウト設定は不要です。

C-3. 上または下ボタンを押して「プリント」を選択し、OKボタンを押します。プリントが開始します。

〈戻るを選択した場合〉

D-1. 画像選択設定を終了します。

7. 日付プリントを設定します。上または下ボタンを押して「日付プリント」を選択し、設定ボタンを押します。

8. 上または下ボタンを押して「オン」または「オフ」を選択し、設定ボタンを押して決定します。

オン：日付プリントをします。
オフ：日付プリントをしません。

9. 用紙サイズを選択します。上または下ボタンを押して「用紙サイズ」を選択し、OKボタンを押します。

初期値 ：プリンタに設定されたサイズです。
L版 ：L版
2L版 ：2L版
はがき ：はがき
4×6 ：4インチ×6インチサイズ
A4 ：A4サイズ

10. プリントのレイアウトを選択します。上または下ボタンを押して「レイアウト」を選択し、OKボタンを押します。

11. 下記項目から選択し、OKボタンを押して決定します。

初期値 ：プリンタに設定されたレイアウトです。
フチあり ：フチあり
フチあり2面 ：一枚に2画面プリント
フチあり4面 ：一枚に4画面プリント
インデックス ：索引プリント
フチなし ：フチ無しプリント

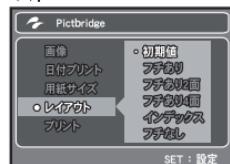
12. 上または下ボタンを押して「プリント」を選択し、OKボタンを押します。プリントを開始します。

●次ページへ続く

8.

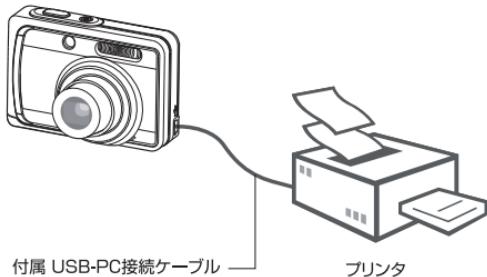
9.

11.

12.

（P.60の続き）

◆プリント中にカメラの電源を切らないでください。正しくプリントされない場合があります。

◆プリント前にプリンタのインク残量を確認してください。
インク残量が少ないと、プリントの途中でエラー表示が出てプリントが中断されることがあります。

◆お使いのプリンタにより表示・設定できる内容が異なります。詳しくはプリンタの取扱説明書をご覧ください。

記録可能枚数／時間の目安

静止画の記録可能枚数

静止画サイズ	画　　質	内蔵メモリ	SD／SDHCメモリカードの容量					
			128MB	256MB	512MB	1GB	2GB	4GB
9M (約900万画素)	ファイン	7	32	65	131	264	530	1061
	標準	10	44	90	181	364	730	1463
	エコノミ	12	53	107	215	431	864	1730
6M (約600万画素)	ファイン	11	50	102	206	413	828	1659
	標準	15	66	133	268	538	1077	2157
	エコノミ	16	71	144	290	583	1167	2336
4M (約400万画素)	ファイン	20	90	182	366	735	1472	2946
	標準	23	100	201	405	811	1625	3253
	エコノミ	27	120	242	487	975	1953	3910

動画の記録可能時間

動画サイズ	画質	内蔵メモリ	SD／SDHCメモリカードの容量					
			128MB	256MB	512MB	1GB	2GB	4GB
640 × 480	ファイン	22秒	1分37秒	3分16秒	6分35秒	13分11秒	26分23秒	52分49秒
	標準	28秒	2分00秒	4分02秒	8分07秒	16分16秒	32分33秒	1時間5分10秒
320 × 240	ファイン	34秒	2分27秒	4分55秒	9分53秒	19分53秒	39分40秒	1時間19分23秒
	標準	37秒	2分40秒	5分22秒	10分46秒	21分34秒	43分11秒	1時間26分27秒

◆撮影の状況・被写体によって記録されるファイルサイズが一定ではないため、記録可能枚数／時間に差が出ます。
上記表は目安としてご参考ください。

◆内蔵メモリ32MBのうち画像の記録に使用できるのは26MBです。

トラブルシューティング

「故障かな?」と思ったらもう一度確認、点検してください。

電源

症状	原因	対処
電源が入らない。	電池が正しく入っていない。	電池を正確に入れてください。
	電池残量がない。	新しい電池に交換してください。
使用中に電源が切れる。	自動電源オフが作動している。	電源を入れてください。 自動電源オフの設定を確認してください。P.49をご覧ください。

撮影

症状	原因	対処
シャッターボタンを押しても撮影できない。	シャッターボタンが完全に押し込まれていない。	シャッターボタンを完全に押し込んでください。
	SDメモリカードの残量がない。	新しいメモリカードを挿入するか、不要な画像を消去してください。
	フラッシュが充電中。	状態ランプが消えるまでお待ちください。
	SDメモリカードがライトプロテクトされている。	SDメモリカードのライトプロテクトスイッチを外してください。
オートフォーカスは作動するが、ピントが合わない。	レンズが汚れている。	柔らかく乾燥した布、またはレンズペーパーで拭いてください。
	カメラと被写体の距離が近すぎる。	P.23をご覧ください。

再生

症状	原因	対処
ファイルを削除できない。	ファイルが保護されている。	保護を解除してください。
	SDメモリカードがライトプロテクトされている。	SDメモリカードのライトプロテクトスイッチを外してください。

コンピュータ／ソフトウェアのインストール

症状	原因	対処
画像をダウンロードすることができない。	パソコンの容量が足りていない。	ハードディスク容量が充分あるかどうか確認してください。
	電源が入っていない。	電源を入れてください。

仕様

製品仕様

イメージセンサー	CMOS　1／2.3インチ
総画素数	912万画素
有効画素数	904万画素
画像解像度	静止画：9M、6M、4M、2M、VGA 動画：640 × 480（24fps）、320 × 240（30fps）
液晶モニタ	2.48インチ TFT 液晶モニタ
内蔵メモリ	32MBフラッシュメモリ
外部メモリ	SDメモリカード（32MB～2GB）／SDHCメモリカード（8GB）
ファイル形式	静止画：JPEG、動画：MJPEG（AVI）
レンズ	3倍光学ズームレンズ　f=6.1～18.3mm　F2.7／4.7
35mmフィルム換算	36～108mm相当
撮影距離	標準：約30cm～∞(W)、約35cm～∞(T)　マクロ（近接）：約5cm～∞
シャッター速度	2～1／1000秒
ISO感度	自動／50／100／200／400／640
デジタルズーム	静止画モード：4倍、再生時：4倍
フラッシュ有効距離	約0.5m～2.7m
入出力ポート	USB 2.0
電源	単3アルカリ乾電池（2本）
寸法（幅×高×奥行）	約89.5×61×28.8mm
重量	約134g（付属品、電池を除く）

■ 同梱品

カメラ本体、USB-PC接続ケーブル、ポーチ、単3アルカリ乾電池、ストラップ、CD-ROM、取扱説明書、クイックスタートガイド

必要システム

以下の条件を満たすパソコンが必要となります。

●下記OSがプリインストールされたパソコン　●USBインターフェース（1.1以上）を標準装備したパソコン

Windows対応OS		Macintosh対応OS	
Windows 2000 (SP4) / XP(SP2) / Vista(32bit)		Mac OS9.0以上　Power G3/G4/G5	
CPU	Intel Pentium III　1G Hz 以上	メモリ	256MB(512MB以上推奨)
メモリ	512MB	ハードディスク	128MB以上の空き容量
ハードディスク	150MB以上の空き容量	ドライブ	CD-ROM必須
ドライブ	CD-ROM必須	インターフェース	インターフェース USB 1.1
インターフェース	インターフェース USB 1.1		

動作保証について

●動作環境を満たすPC中でも、一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

●Windows 95/3.1、Windows NT、Windows 98、Windows 98SE、Windows MEでは動作いたしません。

●Mac os 9.0以降では、動作いたしますがサポート対象外です。動作が不安定な場合は、SDメモリカードリーダーライターを使用して読み書きしてください。

●USBハブや拡張USBボードに接続した状態での使用、自作機および改造を加えたパソコンについては動作保証致しません。

●各OSからアップグレードしたパソコンでは動作保証致しません。